

議会の動き

市民に開かれた議会を目指して

～第5次総合振興計画スタート～

議決事件の拡大

一昨年からは、議会の動き、市民に開かれた議会を目指して」と題して、議会改革の内容をお伝えしてまいりました。その中でも今取り組んだ議決事件（審査の対象となる案件）の拡大は、議会の中でもとても重要な改革の一つです。

これまで、総合振興計画は、基本構想、市政運営の指針）のみが議決事件で、基本計画（基本構想を実現させるための施策）は含まれていませんでした。今回追加した議決事件は、総合振興計画の基本計画で、これを議決の対象とすることで、十年に及ぶ総合振興計画の内容に議会も責任を持って関わることとなります。

審査に当たっては、特別委員会を設置し、第4次総合振興計画の検証から取り組み始めました。内容が多岐に渡るため、3つの分科会に振り分け、それぞれが時間をかけて審査に当たりました。

その結果、第5次総合振興計画において、議会側から30項目の指摘事項を市長に提案し、盛

り込むことができました。主な内容を分科会ごとに報告いたします。

総務文教分科会

総務文教分科会では、幼児教育・学校教育・青少年教育・生涯学習・市民と行政の協働・交通安全・防犯対策など11項目について、指摘しました。

主な内容は、幼児教育の項目では、教育機関と家庭・地域社会が連携し幼児教育を進めることを明確に盛り込みました。学校教育の項目では、今後重要な情報教育の更なる推進について、また、学校給食に伴う施設の整備については、今後、給食センターの老朽化に伴う建て替えや自校方式への移行を検討していく必要があるため表現を改めました。生涯学習の項目では、社会教育施設の整備について、校区公民館の整備完結へ向けた明確な記述とするため、具体的な名称を盛り込みました。交通安全・防犯対策の項では、犯罪の広域化に伴い、市町を越えた防犯体制をつくる必要があるため、近隣市町と連携していくことを盛り込みました。

保健福祉分科会

保健福祉分科会では、高齢者福祉、子育て支援、障害者福祉、保健活動、医療体制、社会制度保障など8項目について、指摘しました。

主な内容は、高齢者福祉の項目では、安心できるまちづくりの推進において、見守り高齢者支援対策として、市内における徘徊高齢者ネットワークの構築を明確に盛り込みました。保健活動の項目では、食育の推進のために、適切な食生活に関する情報提供の一つの手段として、食生活アドバイザー等を育成し、様々な場での活動が展開できるように条件を整備することを加えました。医療体制の項目では、より効果的に、生活習慣病の発症予防や重症化予防のために経年的な健康情報のデータ管理を行うことだけでなく、レセプト分析等を行い、保健・医療・福祉・介護の連携を図るために関係機関だけではなく、関係各課の連携を強化することを盛り込みました。



都市経済分科会

都市経済分科会では、公共交通の整備・交通安全対策・下水道・農業や観光など産業に関する事など10項目について、指摘しました。

主な内容は、公共交通の整備の項目では、西鉄天神大牟田線の各駅について更なるバリアフリー化の推進を盛り込みました。交通安全対策の項目では、歩道の路面改修や段差解消、冠水箇所の整備など多くの機関が関わっているため、効率よく連携を図り計画的に推進する事を盛り込みました。下水道の項目では、一日も早く全ての市民の皆さんが利用できるように費用対効果を考慮して、公共下水道全体計画の見直しの検討を行う事を盛り込みました。農業の項目では、基幹産業である農業について、市としてどのように取り組んで行くのか明確に示した農業基本条例の制定を盛り込みました。観光の項目では、観光をこれからの産業振興及び地域活性化の手段として考え、その中心となる観光拠点施設の整備を検討する事を盛り込みました。